

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	災害に強い交通ネットワークを形成し、物資の供給及び救援活動を円滑にするための主要道路整備の推進												
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	焼津市												
計画の目標	地震時から発生する救助活動や物資の輸送等を円滑に行うため、移動しやすい交通ネットワークを形成し、主要な道路整備を行い災害に強いまちづくりを目指す。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	38	A	12	B	26	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H24年度)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	焼津市は災害への備えができているまちであると思っている人の割合 焼津市は災害への備えができているまちであると思っている人の割合 (%) ※焼津市市民満足度調査による。	47%	%	57%
2	焼津市は災害への備えができているまちであると思っている人の割合 生活道路の整備が進み、車やバイクで移動するときに円滑に通行できるようになったと思う市民の割合 (%) ※焼津市市民満足度調査による。	45%	%	46%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	焼津市	直接	焼津市	市町村道	改築	(2) 市道横須賀上小田線	現道拡幅 L=0.30 k m	焼津市				■	■	■	12		未策定
											小計							12		
											合計							12		

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	B01-001	河川	一般	焼津市	直接	焼津市	—	—	(準用河川) 一色・横須 賀川	河川改修 L=0.05km	焼津市	■	■					26		—
		道路整備が一体となって河川改修を行うことで道路用地を生み出すことにより買収を伴わない道路改良が可能となり効率的な整備が期待される。																		
											小計							26		
											合計							26		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

委員会は5人以内の委員で組織する。  
委員は学識経験者や市民のうちから、市長が委嘱する。

事後評価の実施時期

令和元年度

公表の方法

市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

道路拡幅に伴い、災害時における救援活動時や生活道路における車やバイクなど、車両の円滑な通行を確保することができた。  
河川改修により道路用地を確保し、用地買収が伴わない道路拡幅工事を行うことができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

河川改修を行ったことにより、整備前よりも排水能力が上昇し治水安全度が向上した。

○特記事項（今後の方針等）

「焼津市国土強靱化計画」に位置付けられた整備が必要な道路施設についても、社会資本整備総合交付金事業を活用するなど、今後も災害に強いネットワークの形成を推進していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	焼津市は災害への備えができているまちであると思っている人の割合（％）	
	最終目標値	57％
	最終実績値	62％
2	生活道路の整備が進み、車やバイクで移動するときに円滑に通行できるようになったと思う市民の割合（％）	
	最終目標値	46％
	最終実績値	50％